

平成16年度

# 首都圏整備に関する年次報告

第162回国会（常会）提出

この文書は、首都圏整備法（昭和31年法律第83号）第30条の2の規定に基づき、首都圏整備計画の策定及び実施に関する状況について報告を行うものである。

# 目次

## 序章 トピックで見る首都圏この1年

1

## 第1章 首都圏整備をめぐる最近の動向

9

### 第1節 首都圏住民の生活環境に対する意識の現状と今後の課題

1. 首都圏住民の現在の生活環境に対する意識 ..... 11
2. 整備のための費用負担に関する意識と望まれる将来の社会像 ..... 17
3. 居住者のニーズからみた今後の首都圏整備 ..... 19

### 第2節 首都圏における近年の特徴的な居住動向

1. 都心部等における超高層マンション居住の状況 ..... 23
2. 郊外部の人口減少地区における居住の状況 ..... 26

### 第3節 首都圏における国際化の状況

1. 首都圏における外国人の居住状況 ..... 32
2. 外国人居住を取り巻く環境 ..... 37
3. 外国人と日本人の共生にむけた取組事例紹介 ..... 39
4. 首都圏の国際化に向けて ..... 43

## 第2章 首都圏の現況

45

### 第1節 人口・世帯数の状況 ..... 46

### 第2節 活力創出に資する機能の状況

1. 業務機能の状況 ..... 48
2. 産業機能の状況 ..... 50
3. 研究開発・高等教育機能の状況 ..... 60

### 第3節 個人主体の多様な活動の展開

1. NPOの現状と多様な支援 ..... 62
2. テレワークの推進 ..... 64
3. 高齢者等の生活・社会的活動への支援 ..... 66
4. 首都圏における地域コミュニティ ..... 68

### 第4節 環境との共生

1. 公園・緑地等の状況 ..... 74
2. 都市環境インフラのグランドデザインの進捗 ..... 76
3. 河川環境の保全・回復 ..... 77
4. 海域環境の保全・再生 ..... 80
5. 廃棄物の適正処理の推進 ..... 82

第5節	安全・快適で質の高い生活環境の整備	
1.	安全な暮らしの実現	84
2.	魅力ある居住環境の整備	92
第6節	将来に引き継ぐ社会資本の整備	
1.	交通体系の整備	98
2.	情報通信体系の整備	112
3.	水供給体系・エネルギー供給体系の整備	118
4.	下水道の整備	122
5.	沿岸域の利用	123
6.	都市再生施策の進捗	125

### 第3章 首都圏整備の推進

127

第1節	首都圏整備計画の推進	
1.	首都圏整備計画	128
2.	政策区域等に基づく諸施策の推進	130
3.	東京圏のリノベーションプログラム	132
4.	業務核都市の整備	134
5.	国の行政機関等の移転の推進	136
6.	筑波研究学園都市の整備	138
7.	国会等の移転に関する検討	140
8.	大深度地下の適正かつ合理的な利用の推進	142
第2節	首都圏整備計画に基づく主要な事業の実施状況	144

### 資料 首都圏整備に関する各種データ

147

## ●凡 例●

本文中の「首都圏」、「東京圏」、「近隣3県」、「周辺4県」等は、特にことわりのない限り、次の区域を示す。

首都圏：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県

東京圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

近隣3県：埼玉県、千葉県、神奈川県

周辺4県：茨城県、栃木県、群馬県、山梨県

都心3区：千代田区、中央区、港区

多摩地域：東京特別区を除く東京都（島しょ部を含む）

関西圏：京都府、大阪府、兵庫県、奈良県

名古屋圏：岐阜県、愛知県、三重県

序

章

トピックで見る首都圏この1年

## 横浜ベイブリッジ一般部（一般国道357号）の開通

（平成16年4月24日）

横浜ベイブリッジは、東京湾岸道路の一部として本牧ふ頭と大黒ふ頭の両ふ頭を結ぶ横浜港港口部に上下2層構造の斜張橋として計画され、上層部の首都高速湾岸線は平成元年に、そして、その下層に位置する一般部（国道357号）が平成16年4月24日に開通した。

横浜港のコンテナ物流の拠点である本牧及び大黒両ふ頭間を行き来しているコンテナ車等は、これまで横浜市街地の一般道等に一部迂回していたが、横浜ベイブリッジ一般部の開通により、通称「コンテナ街道」とも呼ばれている国道133号をはじめとする中心市街地における交通混雑の緩和及び大型車交通量（コンテナ車等）の減少による交通環境、生活環境の改善とともに、両ふ頭間における物流の効率化の促進が期待される。（詳細はP103参照）

開通式典



資料：国土交通省

開通した一般部（下層）



資料：国土交通省

## 首都高速埼玉新都心線の開通

(平成16年5月26日)

首都高速埼玉新都心線の与野～新都心間の約2.3kmが、平成16年5月26日に開通し、さいたま新都心と東京方面が直結することにより利便性が向上した。

さいたま新都心における有効な土地利用を図り、良好な都市空間の実現に貢献するため、埼玉県内における首都高速道路としては初のトンネル区間が設けられている。

### 開通式典



資料：首都高速道路公団

### 今回開通した区間



資料：首都高速道路公団



# 「丸の内オアゾ」オープン

(平成16年9月14日)

平成16年9月14日、旧国鉄本社等があった東京駅丸の内北口前に「丸の内オアゾ」がグランドオープンした。「オアゾ (OAZO)」とは「オアシス」を意味し、商業施設・オフィス・ホテル等から成る複合施設である。商業ゾーンには国内最大級の書店等を擁し、周辺のオフィスで働く人々以外にも様々な人が訪れ賑わっている。

現在、丸の内地区では東京駅を中心に皇居前に広がる地区の歴史性と統一感のある景観特性を活かし、新時代に対応する新たな都心像の再構築を目指した街づくりが進められている。このため「丸の内オアゾ」のデザインについては、東京の表玄関にふさわしい風格ある景観の継承・再構築に配慮されている。

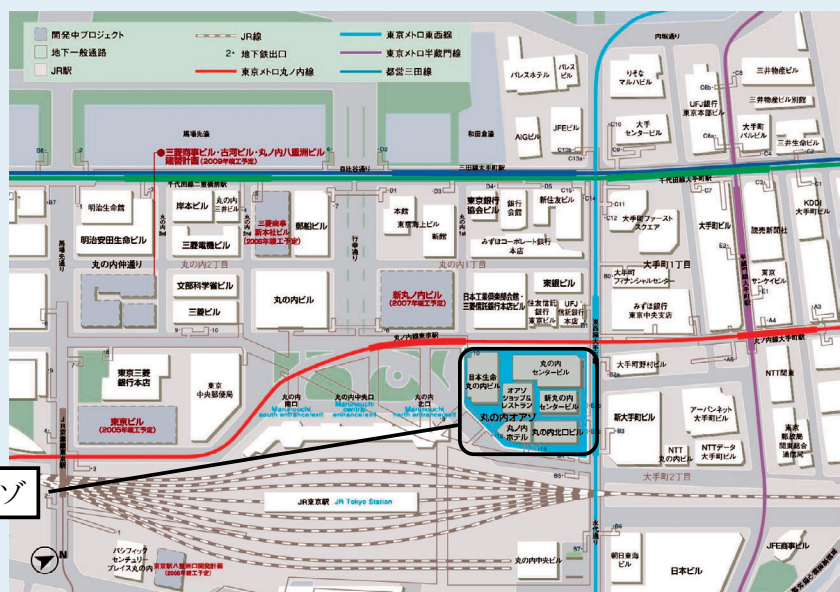
「丸の内オアゾ」は、平成14年にオープンした「丸の内ビルディング」や、現在建替中の「新丸の内ビルディング」等と合わせて、この地区のさらなる発展に貢献するものと期待されている。

## 丸の内オアゾ



資料：丸の内オアゾ

## 丸の内大手町エリアマップ



丸の内オアゾ

資料：丸の内オアゾ

## 「首都大学東京」設置認可

(平成16年9月)

東京都では、従来の4つの都立大学（東京都立大学、東京都立科学技術大学、東京都立保健科学大学、東京都立短期大学）を廃止して、新たに首都大学東京を設置するための認可を、文部科学大臣より平成16年9月に受けた（平成17年4月開設）。

首都大学東京では、大都市における人間社会の理想像を追求することを使命として、①都市環境の向上、②ダイナミックな産業構造を持つ高度な知的社会の構築、③活力ある長寿社会の実現を目指した教育研究に取り組むこととしている。また、都市の文化、経済、技術など、それらが集積する東京でしか学べない「都市の文明」を中心とした教養教育等にも取り組み、創造力と幅広い視野を養う人間教育を実践していく。

首都大学東京（日野キャンパス）



資料：東京都



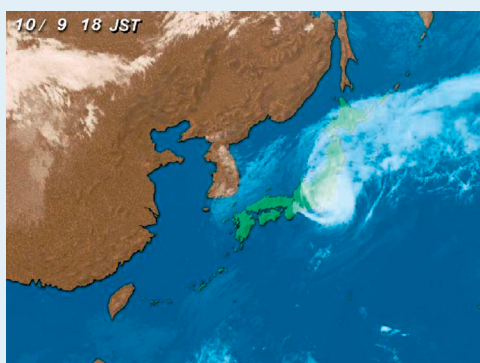
## 台風第22号と第23号、首都圏に襲来

(平成16年10月)

平成16年は、統計開始<sup>1)</sup>から平成15年までの最多上陸数6個を大きく上回る10個の台風が日本に上陸した。首都圏においては、10月に台風第22号及び台風第23号の襲来と秋雨前線の影響による暴風・豪雨に見舞われ、各地で交通網の分断、道路冠水、地下街の浸水等の被害が生じた。特に、台風第22号は、伊豆半島での上陸時の中心気圧が950hPaで、東日本に上陸した台風の上陸時中心気圧は、過去10年で最も低い値となった。また、平成16年10月の月降水量が東京で780.0mm、横浜で761.5mmとなり、それぞれ統計開始<sup>2)</sup>以来の月降水量の極値を更新した。

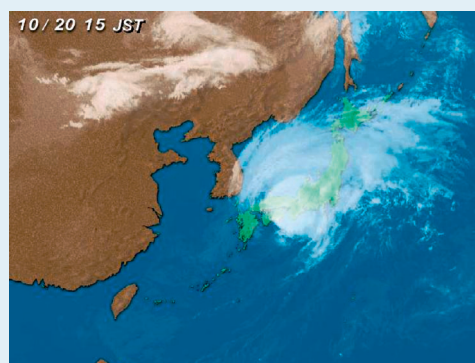
気象衛星「ゴーズ9号」赤外面像

【台風第22号（平成16年10月9日18時）】



資料：気象庁ホームページ

【台風第23号（平成16年10月20日15時）】



横浜市で発生した突風により横転したトラック  
(平成16年10月9日、台風第22号)



資料：横浜地方気象台

横浜市における浸水被害状況  
(平成16年10月9日、台風第22号)



資料：横浜市

1) 台風の統計開始は、昭和26年（1951年）。

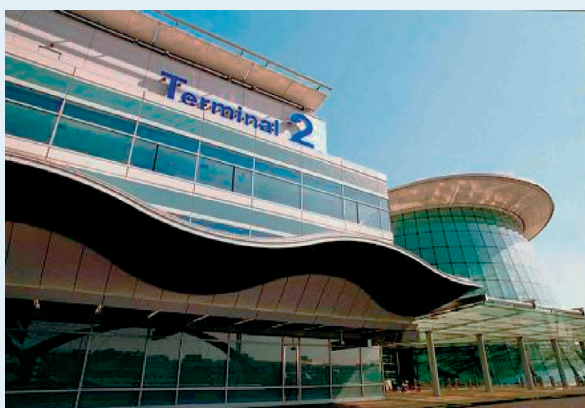
2) 月降水量の統計開始は、東京で明治9年（1876年）、横浜で明治30年（1897年）。

## 羽田空港第2ターミナルオープン

(平成16年12月1日)

平成16年12月1日に東京国際空港（羽田空港）の第2ターミナルがオープンした。これにより、ターミナルビルから直接航空機に搭乗できる便数の割合が増加し、ターミナルビルと遠隔スポットの間のバス移動を強いられる旅客の割合が大幅に減少され、利用者の利便性が一段と向上されることとなった。また、第2ターミナルのオープンに合わせて、東京モノレールの羽田空港第1ビル（旧羽田空港）ー羽田空港第2ビル間（0.9km）が延伸開業し、同時に実施されたダイヤ改正において浜松町ー羽田空港第2ビル間が最短19分で結ばれるようになった。

第2ターミナルビル



資料：国土交通省

東京モノレール羽田空港第2ビル駅開業記念式典の様子



資料：東京モノレール(株)

上空から見た第2ターミナル



資料：国土交通省



## 首都圏中央連絡自動車道（日の出IC～あきる野IC）の開通

（平成17年3月21日）

首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の日の出ICからあきる野ICまでの約2.0kmが、平成17年3月21日に開通した。圏央道は都心から半径40～60kmの位置に計画され、首都高速中央環状線、東京外かく環状道路と一体となって首都圏の環状方向の道路ネットワークを形成し、首都圏の交通混雑緩和に大きく寄与することが期待されている。

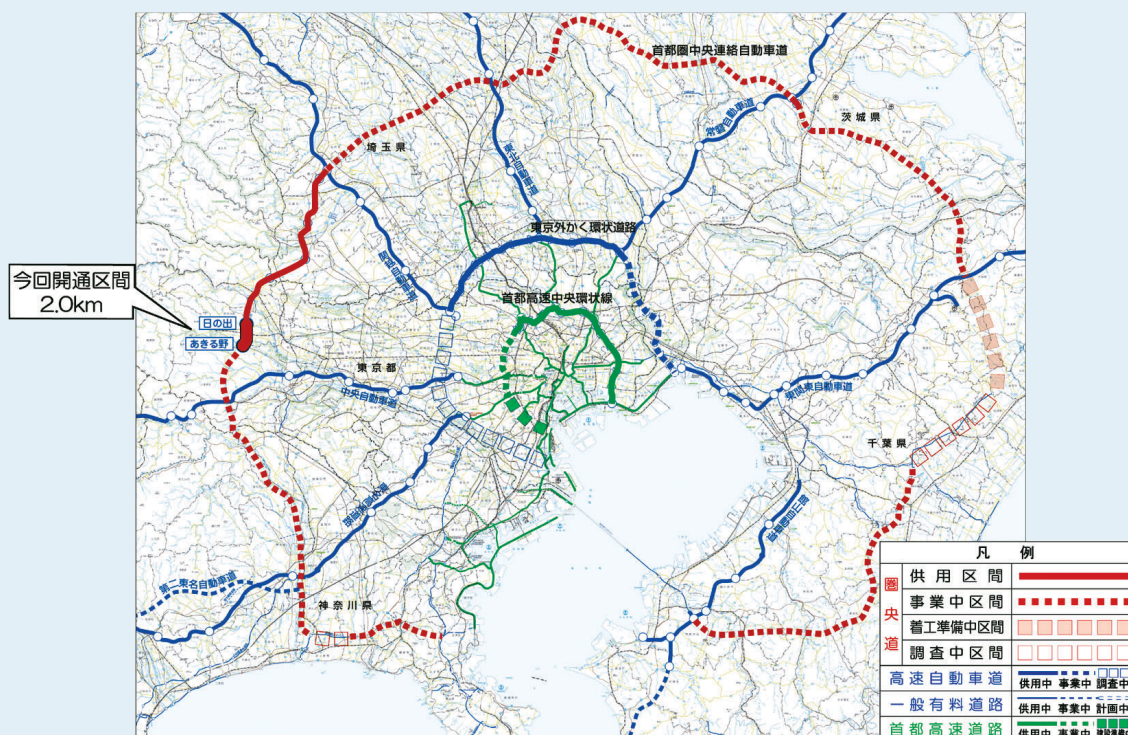
圏央道は、これまでに関越自動車道に接続する鶴ヶ島JCTから日の出IC間（約28.5km）及び、常磐自動車道に接続するつくばJCTからつくば牛久IC間（約1.5km）が開通しており、今回開通する区間を合わせると約32kmが開通したことになる。

開通式典



資料：国土交通省

圏央道路線図



資料：国土交通省資料より国土計画局作成